

東北情報通信懇談会
資金支援事業実施概要報告書

支援: 様式4

事業の名称	第9回仙台講演会「仙台から日本の未来へ～未来を拓く生成AIと半導体技術」		
開催日	令和8年1月29日	開催場所	公益財団法人仙台応用情報学研究振興財団1階ホール
会場来場者人数	オンライン参加者 138人 会場参加者 32人	実施結果に対する感想・反省等	「仙台から日本の未来へ～未来を拓く生成AIと半導体技術」と題し講演会を開催した。
主催団体等	主催： 公益財団法人仙台応用情報学研究振興財団 東北大学研究推進・支援機構知の創出センター 東北情報通信懇談会 共催： 一般社団法人東北IT産業推進機構 後援： 東北大学校友会 仙台市		本行事を通じて、AI技術は単独で発展するものではなく、半導体や通信、社会実装、地域連携といった要素が有機的に結びつくことで、社会的価値を最大限に発揮することが参加者に共有された。 最先端の研究成果や具体的な実証事例を交えた講演により、AIが地域課題の解決や持続可能な社会の実現に直結する、実践的かつ現実的な技術であることへの理解が深まった。 さらに、東北地域を舞台とした産学官連携の取り組みが紹介されたことで、AI技術の活用が参加者自身の生活や地域と密接に関わるものであるとの認識が高まり、今後の地域におけるAI活用や連携への関心・期待を喚起する成果が得られた。
実施行事概要	第9回オンライン仙台講演会 「仙台から日本の未来へ～未来を拓く生成AIと半導体技術」 講演者： 遠藤哲郎（東北大学国際集積・エレクトロニクス研究開発センター センター長） 清重典宏（東北大学電気通信研究所 特任教授） コーディネーター： 野口 正一（仙台応用情報学研究振興財団理事長）		今回も、日本全国からオンライン参加していただき、約138人程の参加状況であった。 今後も、このようなイベントを通して産学官が共通の課題解決に向けて連携して取り込む「交流の場」となるようにしていきたい。

